

勵ヲナシ又衛生講話會ヲ開催シ尙病毒侵襲ノ狀ヲ描出シタル繪畫ヲ各所ニ配布シ一般部民ノ自衛思想啓發ニ努メタリ

佐賀縣 衛生思想ノ啓發ニ關シテハ本縣ニ於テ最モ努力セル處ニシテ告諭、訓令、通牒、示達等ニヨリ一般ノ注意ヲ喚起スルノ外各戸ニ豫防心得書ヲ配布シ又豫防ニ關スル標語繪畫等ヲ各要所ニ配布揭示シテ一般ノ自覺ヲ促シ或ハ開業醫師ニ對シ豫防治療ニ關スル指導ヲ依頼スル等有テユル方法ヲ講シ其ノ效果又妙カラサリト思料ス

熊本縣 本病ノ性質及豫防心得ヲ記載セル印刷物ヲ一般ニ配布シテ注意ヲ喚起シ一方小學校ニ於テ「マスク」ノ製法、含嗽ノ方法等ヲ生徒ニ教ヘ生徒ヲ通シテ家庭ニ豫防法ヲ宣傳セルモノアリ

宮崎縣 流行ノ當初ハ講演ニヨリ豫防警戒ニ努メタルモノ一般ニ本病ヲ輕視シ豫防上ノ注意ヲ實施スルモノ少カリシカ大正八年ノ再度ノ流行時ニ於テハ前回流行ノ經驗ニヨリ主トシテ印刷物ノ配布講演等ニヨリテ相當效果ヲ擧ケ得タリ

鹿兒島縣 衛生組合員及各學校ヲ督勵シテ一般人民並ニ學校生徒ニ對シテ豫防上ノ注意ヲ喚起セシムルノ外一面本省ヨリ配布ノ豫防心得書ヲ各市町村ニ於テ更ニ之ヲ謄寫セシメ各戸ニ頒布シ若クハ衛生講話會ヲ開催シ或ハ湯屋、理髮店等客ノ來集スル營業所其ノ他多數人ノ出入スル場所等必要ト認ムル個所ニ豫防心得書ヲ掲出シ以テ豫防思想ノ啓發ニ最善ヲ竭シタリ

沖繩縣 縣下適當ナル場所ニ「ポスター」及豫防心得書ヲ揭示シ且郡區町村當局ト協力シテ衛生幻燈及衛生講話ヲ開催シ豫防ニ對スル思想ノ啓發ヲ計リ一面警察醫並ニ檢疫委員ヲ流行地ニ派遣シ豫防上ノ指導及忠告ニ對シ看護等ノ注意ヲ與ヘシメタリ

二、「マスク」及含嗽ノ獎勵

(イ)「マスク」呼吸保護器ノ獎勵

「マスク」ノ使用ニ關シテハ含嗽ノ勵行ト共ニ各府縣ニ於テ極力之カ普及ヲ圖リタル處ニシテ殊ニ劇場、活動寫真館、寄席等ノ入場者、電車、汽車、船舶等ノ乘客其他多衆集合ノ場所、雜沓ノ場所ニ出入スルモノニ對シ格段ノ勵行ヲ爲シ或ハ理髮業、按摩業等ノ接客業者ニハナルヘク之カ使用ヲ慫慂シ廳員、警察官吏其他ノ官公吏ニ對シテハ一般ノ模範タルヘク率先之カ使用ヲナサシメ汎ク普及ヲ圖リタリ、一、二ノ縣ニアリテハ警察官服裝令中ニ呼吸保護器ノ使用ヲ加ヘテ強制セルヨリ、或ハ流行猖獗時ニハ興行場入場者ニ對シテハ興行主ヲシテ「マスク」ヲ使用セサルモノハ入場ヲ謝絶セシメタルモノアリ、或ハ縣令ヲ發シテ流行地ト指定シタル地域内ニアリテハ興行場ノ入場者、汽車、電車、船舶等ノ乘客ニハ「マスク」ノ使用ヲ命ジタルモノ等アリテ各府縣トモ相當普及セラレタル如シ

「マスク」ノ補給ニ關シテハ單ニ坊間商人ニ其ノ製造販賣ヲ委任セシモノアリシモ亦府縣費ヲ以テ材料ヲ購入シ之ヲ女子師範學校、高等女學校等ノ生徒ヲシテ學業ニ支障ヲ來ササル程度ニ於テ製作セシメ之ヲ一般ニ實費ヲ以テ提供シ或ハ警察官吏等ニ無償交付ヲナシ或ハ貧困者ニ無償給與ヲ爲シタルモノアリ、又愛國婦人會、私立衛生會支部、赤十字社支部、花ノ日會、佛教婦人青年會等ニ於テモ簡易「マスク」ヲ製作シ一般ニ廉價ヲ以テ供給シ或ハ之ヲ無償ニテ配布シ之カ普及ヲ圖リタリ、又「ガーゼ」ヲ以テ簡易ナル自家製「マスク」ノ使用ヲ獎勵シタル結果部落民申合セテ之ヲ勵行シタルモアリ

團體的ニ普及ヲ見タルハ軍隊、工場、學校等ニシテ軍隊ニ於テハ「マスク」ヲ各自ニ配布シ強制的

ニ之ヲ使用セシメ工場ニ於テハ工場主ヨリ職工ニ給與シ之カ使用ヲ督勵シタルモノ抄カラス  
學校兒童ニ對シテハ衛生講話等ニヨリテ之カ使用ヲ懲誨シ貧民兒童ニ對シテハ市町村等ニ於  
テ給與又ハ廉價ヲ以テ供給シタルモノ抄カラス

(コ) 含嗽ノ獎勵

含嗽ノ普及實行ニ對シテモ各府縣共之ヲ獎勵セリ今其ノ重要ナルモノヲ記セハ或ハ藥劑師  
會ヲシテ含嗽劑ヲ調製セシメ衛生組合ヲシテ實費ヲ以テ各戸ニ頒布セシメタルアリ或ハ學校  
ニ含嗽水ノ設備ヲナシ兒童ヲシテ之カ使用ノ便ニ供シ或ハ衛生會ノ事業トシテ各警察官署ニ  
含嗽劑ヲ配布シ需要者ニ分配シ或ハ府縣衛生會ヲ懲誨シ含嗽劑ノ無償配布ヲナサシメタルア  
リ茨城縣多賀郡ニアリテハ郡費ヲ支出シ郡内各停車場ニ含嗽劑ヲ備ヘ付ケ乗降客ニ對シ含嗽  
劑ヲ獎勵シ備ヘ付ケ含嗽用器具ハ其ノ都度蒸汽消毒ヲナシタリ或ハ福井縣ニ於テハ常ニ微温  
メテ之レカ普及ヲ圖リタリ含嗽ハ感冒患者ニ於テ寧ロ多數ノ實行ヲ見タルモ他ノ健康者ニア  
リテハ比較的少キ如ク官公吏有識者其他學校工場等ノ團體ニ於テ實行セラレタルモノヲ除キ  
テハ一般人ニハ「マスク」ノ如ク汎ク普及スルニ至ラザリキ

尙含嗽液トシテ一般ニ使用セラレタル材料ハ微温湯、一二%食鹽水、二三%硼酸水、一萬倍過滿  
俺酸加里液、三%過酸化水素水、〇.一%沃度加里水、〇.一%沃度丁幾水、二三%鹽酸加里水等アリ  
各府縣ニ於ケル「マスク」含嗽獎勵ノ實況ヲ舉クレハ左ノ如シ

北海道 簡易ノ材料ヲ以テ「マスク」ヲ製造スル法ヲ圖解セル印刷物ヲ一般ニ配布シテ之ヲ指導  
シ、又高等女學校、女子職業學校、裁縫教授所等ニ託シテ製作セシメ實費ヲ以テ衛生組合等ニヨリ

ヲ需要者ニ配布セシメ或ハ其販賣店ニ廉價ヲ交渉シ又劇場、寄席ノ木戸口ニテ入場者ニ無料交  
付セシムル等以テ其普及ヲ圖リ含嗽劑ハ各地藥劑師會ニ交渉シテ實費ヲ以テ供給セシメ左記  
包装ニ入レ衛生組合其他ノ團體ヲ介シテ之ヲ一般家庭ニ頒布シ又食鹽含嗽ヲモ獎勵セリ

(面 表)

北海 道 廳 衛 生 課 指 定
感 染 性 含 嗽 劑
調 製 責 任 者 何 藥 劑 師 會
何 某

(面 表)

本 州 八 何 藥 劑 師 會 ノ 製 劑 ニ シ テ 北
海 道 廳 衛 生 課 ノ 指 定 ヲ 受 ケ 道 内 各
地 衛 生 組 合 ノ 手 ヲ 經 テ 希 望 者 ニ 賣
費 分 與 ス ル モ ノ ト ス

東京府 「マスク」含嗽ノ獎勵ハ衛生講話ニヨリ又ハ印刷物ノ揭示配布、或ハ活動寫真館、劇場等ニ  
於ケル豫防ノ宣傳ニヨリ大ニ之ヲ獎勵シタルモ「マスク」ノ如キハ供給需要ニ應セス、爲メニ不正  
ノ商人暴利ヲ貪ル等ノ事實アリテ之カ獎勵上支障抄カラサリシヲ以テ各警察署長ヲシテ是等  
不正商人ノ取締ヲ嚴重ニ行ハシメ一面家庭ニ於テ之カ作製ヲ獎勵シ尙花ノ日會、佛教婦人青年  
會、其他ニ交渉シテ活動寫真館、劇場入口其他道路交叉部等ニ於テ廉價セシメタルニ其效果大ニ  
見ル可キモノアリタリ

京都府 一般豫防心得中呼吸保護器ノ使用ハ特ニ重要ナルモノナルヲ以テ廳員、警察官吏及學  
校職員等ニ訓示シ他ニ率先シテ之カ使用ヲナサシメ普及ヲ計リシ爲ニ漸次一般ニ使用スル傾  
向顯ハレ之カ製造業者ノ如キハ需要ニ應シ得サル狀況ヲ呈シタルニ付キ當業者ヲシテ尙製造

販賣ヲ盛シナラシメ需要ニ支障ヲ來タササル様督勵ヲ加ヘタリ

大阪府「マスク」ノ使用ハ豫防上效果大ナルヲ以テ各警察署長、郡市長ヲシテ專ラ使用方勸誘督勵セシメ相當ノ實踐ヲ舉ケタリ、尙團體的ノモノニアリテハ經濟上ノ關係ヲ考慮シ特ニ廉價ナルモノヲ望ムヲ以テ之カ簡易製造ヲ發明セシ市內私立長谷川病院長長谷川清治氏ヲ德憑シ工場、會社等ニ其ノ製作方ノ指導等ヲナサシメタルカ其ノ材料僅ニ五錢内外ニテ支辨シ得ラルヲ以テ相當ノ歡迎ヲ受ケタリ、其他公共團體篤志家ニシテ「マスク」ヲ製作シ實費配布ヲナセル者モ尠カラス亦大阪府衛生會ニテハ含嗽劑無料配布ヲ行ヒ其量一萬二千磅ニ達セリ

神奈川縣 鹽剝水、過酸化水素水、硼酸水等ノ含嗽劑ヲ獎勵シ「ガーゼマスク」ニ對シテモ一般ニ其ノ使用ヲ獎勵シ來リシカ大正九年一月ニ至リ患者激増スルト共ニ「マスク」ヲ使用スル者モ亦俄カニ増加シ爲メニ市價暴騰シ一個三十五錢ヨリ八十錢ニ達シタル爲メ一般ノ使用普及ニ障害抄カラス依テ縣ハ自ラ之ヲ製作シ實費ヲ以テ一般ニ提供セント企テ之レカ製作ニ要スル費用ヲ社團法人神奈川縣救濟協會ヨリ一時融通ヲ受ケ約一萬個製作ニ要スル材料ヲ調ヘ金具製作ヲ工業學校ニ裁縫ヲ市內八箇所ノ高等女學校ニ於テ分擔シ生徒ノ學修ニ支障ヲ來ササル程度ニ於テ之カ製作方ヲ依託シ販賣ハ日本赤十字社篤志看護婦會神奈川縣支會ニ委囑シ一般ニ提供スルコトトシタリ、其結果僅々數日間ニ豫定數一萬一千六百個ヲ作製シ販賣價額ハ一個五錢ニシテ約半數ハ學校、諸官廳會社等ノ需要ニ應シ他ノ半數ハ一般ニ提供シタリ、尙縣直營ニ係ルモノハ五千三百六十二個ニシテ主トシテ橫濱市聯合青年團ノ要求ニ應シ其ノ幾分ハ直接申込者ニ配布セリ此ノ計劃ハ機宜ニ適シ相當ノ效果ヲ收メタリ

兵庫縣「マスク」含嗽劑ノ使用ニ關シテハ屢宣傳普及ニ努メタル外ニ特別ナル施設ヲ行ハサリシ

モ流行猖獗時ニハ相當普及セラレタリ

長崎縣「マスク」使用ニ就テハ一般ニ自衛心ヲ喚起セシメ活動寫真館劇場等ノ入場者、電車、自動車乘合馬車ノ乘客及多數衆合ノ場所ニ出入スルモノハ必ス之レヲ使用スル様督勵セリ

新潟縣 豫防思想啓發ノ爲メ諸所ニ開催セル講話ニ於テ大ニ「マスク」ノ使用含嗽等ヲ獎勵シタル結果大流行時ニ於テハ過半數ノ人ハ「マスク」ヲ使用スルニ至レリ又其ノ使用ヲ普及セシムル爲メ輕便安價ノモノヲ製作セシムルコトニ努力セリ

埼玉縣「マスク」用布地其他ノ材料ヲ縣費ニテ購入シ之ヲ浦和高等女學校生徒ニ製作方ヲ託シ二千個ヲ作り之ヲ縣下警察官吏衛生吏員ニ無料配布シ強制的ニ使用セシメテ範ヲ公衆ニ示シツツ一般民衆ニ「マスク」使用ヲ獎勵シ又東京ヨリ「マスク」ヲ輸入シテ取次ノ便ヲ計リタル結果縣民汎ク「マスク」ヲ使用スルニ至レリ殊ニ小學校兒童ハ學校職員ノ指導ト監督ノ行キ届キタル結果其成績著シキモノアリタリ、含嗽劑ノ獎勵モ一般ニ試ミタルモ中流以下ハ之ヲ行フモノ少ナカリシモ各學校、工場ニ於テハ含嗽劑ヲ常備シ適宜生徒、職工ヲシテ之ヲ勵行セシメ相當效果アリシヲ認メタリ

群馬縣 縣下ノ警察官六百名ニ對シ縣費ヲ以テ「マスク」ヲ給與シ平生實行ノ範ヲ示スト同時ニ「マスク」自製ノ見本ヲラシメテ一般民ニ之カ製作使用ヲ獎勵シタリ、又愛國婦人會ト協議シテ「マスク」一萬餘ヲ急造シ群馬縣立前橋高等女學校、女子師範學校及高崎高等女學校ニテ製造普及ク縣下市町村ニ配布シ貧困者其ノ他ニ給與セシメタリ本具ノ使用獎勵ニツキテハ學務課トモ協議シ各學校ニ通牒極力獎勵ノ結果大ニ普及ヲ助ケタリ

千葉縣「マスク」含嗽劑ノ獎勵ニ就テハ先ツ官公衛吏員、學校、職員等ニ於テ率先之カ範ヲ示シ漸次

各種團體個人間ニ普及スルニ至レリ而シテ「マスク」ノ廉賣ニ就テハ簡單實用的「マスク」ヲ千葉町某藥舖ヲシテ調製セシメタルニ一般ニ歡迎セラレ町村其他團體ニ於テ購入スルモノ頗ル多ク其ノ數約四萬一千個ニ達セリ、尙活動寫真館、劇場、寄席、乘合自動車ニ於テハ豫防上ノ必要ヲ斟酌シ「マスク」ヲ使用セサル者ハ絶對入場及乗車ヲ禁止スルノ方法ヲ執リタルヲ以テ外出ニハ殆ト「マスク」ヲ使用セサル者無キニ至レリ、含嗽モ亦「マスク」同様之ヲ督勵シタルモ實行者ハ「マスク」使用者ニ比シ少數ナリシ如シ

茨城縣 含嗽ニ關スル特殊の施設ヲ舉クレハ多賀郡ニテハ郡費ヨリ六百四十圓ヲ支出シ郡内停車場十箇所常盤線驛ニ含嗽藥ヲ設備シ警察官吏青年會員ニ於テ乗降客ニ對シ含嗽ヲ勸奨シ備付含嗽用器數千個ハ使用ノ都度蒸氣消毒ヲ施行シタリ、尙同郡日立村ニテハ日立鑛山電車停留場ニ同様ノ設備ヲ爲シ一般ニ含嗽ヲ奨勵シタリ、「マスク」ハ宿屋、料理屋、飲食店、理髮店、鍼灸按摩術營業等ノ接客業者ハ勿論活動寫真館、劇場、寄席等ニ於ケル觀覽人並從業者、公私立學校職員、生徒兒童、諸工場、銀行、會社等尙多衆集合スル場所ニ出入スル者ニ關シ半ハ強制的ニ「マスク」使用ヲ勸奨シタルノ外一般ニ之カ使用ヲ宣傳シタル結果「マスク」ノ使用著シク増加セリ

栃木縣 「マスク」ノ使用ヲ廣ク宣傳シ理髮業者、飲食物ニ關係アル營業者ハ其ノ從業中ハ必ス之ヲ使用シ豫防ニ努ムルト共ニ一般ニ其ノ範ヲ示スノ資ニ供セシメタリシカ恰モ本病ノ疾風の流行ハ「マスク」ノ供給ニ不足ヲ告クルニ至リタルヲ以テ宇都宮市内各高等女學校ト協議シ實費製作ヲ得之ヲ一般ニ紹介シ實費分與ヲナシ或ハ日本赤十字社本縣支部ニ諮リ若干ノ無償配布ヲ爲ス等其ノ使用ヲ奨勵スルニ苦心ヲ重ネタリシモ折柄愛國婦人會栃木縣支部ノ厥起ニヨリ其同情アル纖手ニ成レル「マスク」ハ縣下ノ下級生活者、軍人、遺族、家族者ニ配分サレ尙宇都宮市内

ノ如キハ同會ノ幹部夫人自ラ出勤シテ配與ノ勞ヲ執リ以テ其ノ使用ヲ奨勵セル等ハ「マスク」使用ノ必要ナルヘキ思想鼓吹ニ多大ノ效果アリタルノミナラス時シモ「マスク」ノ販賣ニ暴利ヲ貪ル市價ヲ牽制スルニ多大ノ效果アリタルモノト認ム、又興行場入口等ニ於テモ安價ニテ販賣シ之ヲ使用セシテ入場セムトスル者ニハ努メテ其使用ヲ薦ムル等ノ方法ヲ執リタリ尙其ノ宣傳方法トシテハ數個條ノ心得ヘキ事項ヲ了解シ易キ文字ヲ以テ表示シ群衆ノ場所又ハ多人數集合スヘキ日ヲ選ミテ之ヲ掲出セシメ或ハ活動寫真撮影ノ間隙ニ之ヲ挿入シテ其ノ大意ヲ説明セシメ尙豫防心得十萬枚ヲ印刷シ各町村長ヨリ小學生ニ頒布セシメ或ハ講演等ニヨリ「マスク」ノ使用含嗽ノ實行ヲ極力督勵セリ

奈良縣 「マスク」及含嗽ヲ奨勵シ可成容易ニ之ヲ實行スル爲メ縣ニ於テ安價ノ「マスク」ヲ製セシメ各郡市ノ注文ニ應シ配送セシメ又郡部ニ於テハ女學校ニ於テ「マスク」ヲ製セシメ實費ニテ讓渡ヲナシ之カ普及ヲ計リタル處モアリタリ

三重縣 「マスク」ノ使用ニ對シテハ豫メ縣廳員ニ共同購入ノ方法ヲ以テ廉價ニ之ヲ需メシメテ官公衙及團體ニ範ヲ示シ可及的ニ其ノ使用ヲ奨勵實行セシム又市町村其ノ他ノ團體ヲ督勵シテ貧民部落ノ住民ニ對シ公費ヲ以テ「マスク」及含嗽劑ヲ調製シテ無料配布ヲナシタリ、各理髮業者ニ對シテ就業中ハ絶對的「マスク」ヲ使用セシメ一面工場主ニ警告シテ工場職工ニ對シ「マスク」ノ使用及含嗽劑ヲ調製シテ朝夕含嗽ヲ勵行セシメタリ

愛知縣 「マスク」含嗽奨勵ハ何レモ強制セス自覺ヲ待ツコトトナセリ然シテ各個人ノ注意ニ依リテ行ヒタルモノノミ「マスク」ハ勞働及農業ニ從事スル者ニハ充分實行セラレサリシ如キモ他ハ一般ニ能ク行ハレタリ「マスク」普及ニ就キテハ町村役場ヨリ特ニ在住貧民ニ對シ無償交付セ



シ處アリ又地方青年會ニ於テ作成シ實費販賣セシメタル處アリ或ハ小學校生徒ヲシテ作成販賣セシメタル處アリ其他個人又ハ教育會ニ於テ之ヲ寄付シタル處アリ

靜岡縣 縣廳警察署郡市役所ノ官公吏ヲシテ率先「マスク」並ニ含嗽ヲ爲サシメ以テ一般公衆ニ範ヲ示シ更ニ一般民ニ對シ一齊ニ勵行スル風潮ヲ馴致セシメ一面縣衛生課ニ於テ「マスク」ノ實費販賣ヲナシタルニ需要ハ忽チ供給ニ不足ヲ生スルニ到リシヲ以テ裁縫學校高等女學校及小學校女兒童ヲシテ之ヲ作製セシメ警察署巡查駐在所巡查派出所市町村衛生組合劇場等ヲシテ販賣セシメ殊ニ靜岡市ニ於テハ市吏員衛生組合員等ヲシテ大道及劇場公設市場ニ於テ販賣セシメタルニ當時市價一個二十錢乃至五十錢ノ高價ヲ以テ嚮キタルモノモ一個七錢乃至五十錢ノ實費販賣ニ制セラレ著シク市價ヲ調節スルヲ得タリ直接縣ノ手ヲ經テ各地ニ配布シタル「マスク」ハ六萬一千九百九十六個各商人ニ於テ販賣シタル數二十九萬八千九百六十五個其他自家製ノ物多數アリシヲ以テ一時ハ縣下普ク之レヲ使用スルニ至リタリ含嗽ニ就テハ各家庭ニ於テ相當行ハレタリト思料スルモ秩序的ニ行ヒタルハ駿東郡小山町富士瓦斯紡績工場ニシテ職工五千二百人ニ對シ大正八年一月十五日ヨリ三月十五日迄二箇月間ニ涉リ食前食後一日六回ノ食鹽水含嗽ヲ爲サシメタリ又職工ノ全部ハ昇永水ヲ以テ兩手ヲ洗條シタル上業務ニ從事スル如クナシタリ

山梨縣 縣警察官吏ニ「マスク」ヲ配布シ自衛上並ニ一般民ニ範ヲ示ス爲メ督勵上強制使用セシメ又劇場寄席活動寫真館等ノ觀覽者ニハ「マスク」ヲ必ス使用シテ入場セシムルコトトシタリ其ノ他「マスク」三千個ヲ調製シ縣下細民ニ配付セリ恩賜濟生會ニ於テモ「マスク」含嗽普及ノ爲メ此等ヲ調製シテ貧困者ニ配付セリ

滋賀縣 「マスク」及ヒ含嗽使用ノ有效ナルコトハ豫防思想ノ啓發方法トシテ普及シタリト雖「マスク」ノ如キハ相當代價ヲ以テスルニアラサレハ得ル能ハサルノ狀況ナリシヲ以テ自然之ヲ開却スル者アルヘキヲ慮リ努メテ簡易ナルモノニシテ自家ニテ容易ニ作製シ得ヘキモノヲ示シ以テ之ヲ獎勵シ之ヲ得ルノ途ナキ者ニ對シテハ相當給與ノ方法ヲ講セシメ一面「マスク」ノ需要多キニ乘シ猥リニ高價ヲ以テ販賣スル者ヲ取締リ需要供給ヲ圓滑ナラシメ普ク使用セシムルニ努メタリ

岐阜縣 通牒ヲ發シ一般ニ「マスク」ヲ獎勵シ各官衙學校ニハ努メテ之ヲ使用セシメタリ

長野縣 縣費ヲ以テ「マスク」ヲ購入シ當初直接豫防事務ニ當ルモノニ對シテ之ヲ配布シ一般ニ勸奨シタル結果各郡市ニ在テハ公費ヲ以テ購入シ又ハ女學校生徒ヲシテ作製セシムル等ノ方法ニ依リ配布シ之カ使用ヲ獎勵シタリ之カ爲メ學校兒童ニアリテハ特ニ普及ノ效果アリシヲ認メタリ含嗽モ普及シ學校等ニハ含嗽水ノ設備ヲナセル者少カラス

宮城縣 學校工場等ニアリテ廉價ニ「マスク」ヲ製作給與シ劇場等ニヨリテハ木戸口ニ於テ「マスク」ヲ販賣セシメ之カ使用ヲ獎勵セリ

福島縣 呼吸保護器ノ使用ヲ獎勵シ之ヲ得ルノ途ナキモノニ對シテハ相當給與ノ方法ヲ講シ劇場寄席活動寫真館ノ入場者又ハ汽車自動車馬車輕便列車ノ乘客其他多數集合ノ場所ニ出入スル者ニ對シテハ之ヲ使用セサレハ乘車又ハ入場セシメサル様注意シ一面縣費ヨリ八十圓ヲ支出シタル外赤十字社福島支部ニ交渉シ金貳千圓ヲ以テ一萬五千個ヲ購入シ流行ノ各町村中資力乏シキ者ニ對シ適當ニ配給シタリ又地方ニヨリテハ町村費ヲ支出シテ其製作ヲ女學校生徒ニ依頼シ廉價ニ給與ノ途ヲ講シタルモノアリ其他工場鑛山等ニ於テモ職工工夫等ニ配付使

用セシメタル處多シ含嗽水ニ對シテモ一般ニ之ヲ獎勵セリ  
 巖手縣 「マスク」ハ衛生課ニ於テ製作者及販賣人等ヲ特定シテ廉賣ノ方法ヲ取り其他家庭等ニ於テ容易ニ作製シ得ル「ガーゼマスク」ヲ獎勵普及ニ努メタリ、其他種々ナル公益團體ノ活動ニヨリ廉價ナル「マスク」ヲ作り廣ク貧困者ニ給與シタリ含嗽モ一般ニ獎勵シタリ  
 青森縣 本病豫防ニ對スル自衛心ヲ喚起セシムルハ最モ緊要ト認メ此ノ際全縣下警察署員ヲシテ率先シテ「マスク」ノ使用ヲ實行セシメ併セテ含嗽劑ヲ無料交付シタリ。「マスク」ノ使用勵行ノ結果賣上高増加スルニ伴ヒ暴利ヲ貪ル如キモノ無カラシムル爲メ警察署ニ命シ之カ取締ヲ爲サシメタリ

山形縣 郡市警察ヲ督勵シテ「マスク」ヲ使用及含嗽ヲ獎勵シ縣ニ於テ「マスク」ノ廉賣供給ヲ圖リタル外便宜上學生ヲシテ「マスク」ヲ製作セシメ實費ヲ以テ頒布シタル者アリ

秋田縣 一般ニ之ヲ獎勵スルト共ニ流行甚シキ時期ニハ劇場、寄席、活動寫真館等ノ入場者、乗合自動車、馬車等ノ乗客ニ對シテ特ニ「マスク」ヲ使用セシメタリ

福井縣 豫防方法ヲ一般ニ會得セシメ「マスク」使用ヲ勸誘スル爲メ自動車ニヨリ屋外講演ヲ行ヒ忠告其他感染ノ虞レアル場所ニ於テハ必ス之ヲ使用セシメ殊ニ劇場、寄席、活動寫真館等ノ入場者、及電車、乗合自動車等ノ乗客ニシテ使用セサル者ニ對シテハ成可之ヲ入場若ハ乗込ヲ拒絕セシムル様適當ナル方法ヲ講シ尙縣令ニヨリ流行性感冒流行地ト指定シタル地域ニ於テハ右ノ場合絶對ニ使用セシムルト共ニ一面「マスク」ヲ販賣スル者ニ於テ暴利ヲ貪ル者ナキヲ保シ難キニ付キ是カ販賣者ニ對シ宣傳ヲ行フコトノ意ヲ含メ現價(一個三十錢)ノ儘販賣スヘキコトヲ豫メ協商シタリト雖モ尙充分ナラサルモノアリシカ爲メ縣廳ニ於テ之カ調製品ノ蒐集ニ相當

ノ助力ヲナシ努メテ安價ニ一般へ交付スルコトヲ計畫シタル結果一個金十五錢ヲ以テ交附スルコトヲ得タルニ縣下各地方ヨリノ申込ミ多ク其數八萬二千餘ニ達セリ而シテ其作製ニハ多大ナル努力ヲナシタルモ尙ホ不足ヲ告クル地方アリシヲ以テ之等ノ地方ニ於テハ高等小學校生徒ノ手工トシテ是ヲ作製セシメ家族ノ用ニ供セシメタリ又是ヲ使用スルノ資力ナキモノニ對シテハ無償供給ノ方法ヲ講シ使用ノ徹底ヲ計リタリ豫防方法ノ一トシテ有效ナル食鹽水又ハ微溫湯ノ含嗽ヲ獎勵スル目的ヲ以テ呼吸保護器ト共ニ流感豫防含嗽器ナルモノヲ考案シ之ヲ陶器業ニ交渉シテ作製セシメ先ヅ廳内適當ナル場所ニ配置シ試驗ノ結果其ノ成績良好ナルヲ認メ漸次學校工場其ノ他之ニ類スル多衆集合ノ團體等ニ實費ヲ以テ供給シタルニ之ヲ實行セシモノ百餘箇所ニ及ヘリ而シテ備付ヲナシタル工場其ノ他ニ於テハ其ノ方法ノ簡便ナルヲ喜ヒ備付ヲナスモノ益々増加シ製造業者ハ其ノ要求ノ全部ヲ充スコト能ハサル實況ニ至レリ、尙福井縣ニ於ケル「マスク」獎勵ノ通牒及「マスク」使用成績ヲ左ニ掲ク

衛丙第四號

大正九年一月七日

衛生課長 長谷川貞一郎

縣下各警察官署長殿

呼吸保護器ノ使用獎勵ニ關スル件

流行性感冒ノ豫防ニ付テハ大正八年十二月十六日付通牒致置候處其ノ後病毒ハ漸次蔓延セムトスルノ狀況ニ有之候條特ニ左記事項ノ勵行方御盡力相成度依命此段及通牒候也

左記

- 一、工場主ニ脱示シ其ノ費用ヲ以テ其ノ工場ニ於テ作業ニ従事スル全部ノ職工等ニ對シ呼吸保護器ヲ使用セシムルコト
- 二、宿屋及料理店ノ女中理髮營業者、看護婦、按摩鍼灸術營業者、藝妓娼妓、貸座敷、仲居、劇場寄席、活動寫真館等ニ於テ直接客ニ接スル者ニ對シ充分脱示ノ上呼吸保護器ヲ使用セシムルコト
- 三、流行性感胃患者ヲ發見シタルトキハ直接脱示シテ呼吸保護器ヲ使用セシムルコト
- 四、流行性感胃患者ノ有無ハ檢病的戸口調査ニ依ルノ外醫師ニ就キ取調ヘ尙同死亡者ニ付テハ市町村役場ノ埋火葬認許證交付簿ニ依リ嚴重調査スルコト
- 五、官公署職員學校教師等ニ對シテ出來得ル限リ呼吸保護器ノ使用ヲ勸誘スルコト
- 六、警察署員モ自ラ呼吸保護器ヲ使用スルコト
- 七、其ノ他呼吸保護器ノ使用ヲ宣傳スル爲適切ナル方法ヲ講スルコト

呼吸保護器所持者調査表(大正九年二月五日現在)

警察署別	總戸數	呼吸器所持者數		%	總人口	呼吸器所持セル人口		%
		二月五日現在	日現在			二月五日現在	日現在	
福井警察署	22,121	1,174	9,310	4.21	29,965	2,666	10,606	2.2
三國警察署	12,721	810	5,245	5.5	7,338	3,127	16,723	3.9
九國警察分署	5,522	2,727	2,727	49.2	2,727	10,335	9,077	32.9
大野警察署	8,101	5,767	5,767	70.0	5,767	13,575	10,928	30.2
藤山警察分署	5,322	2,211	2,211	41.5	2,211	3,226	6,333	26.4
西田中警察署	8,122	5,332	5,332	65.7	5,332	18,071	9,441	34.6
織田警察分署	5,522	2,211	2,211	39.9	2,211	5,101	2,211	20.9
鯖江警察署	6,522	5,819	5,819	89.2	5,819	13,110	17,333	25.5
合計	110,622	40,322	245,722	36.4	558,820	388,221	1,227,222	29.7

警察署別	總戸數	呼吸器所持者數	總人口	呼吸器所持セル人口	%
粟田部警察分署	5,722	2,233	2,233	8,822	29.7
武生警察署	9,222	5,822	5,822	10,222	29.9
敦賀警察署	7,222	7,022	6,822	17,222	29.7
三方警察署	4,222	2,222	2,222	5,222	29.7
小濱警察署	9,222	8,022	7,822	19,222	29.7
高濱警察署	2,222	2,222	2,222	5,222	29.7
合計	110,622	40,322	245,722	558,820	29.7

石川縣「マスク」使用ノ獎勵トシテ本縣警察部衛生課ニ於テ輕便ナル材料ヲ以テ「マスク」ヲ製造シ各警察官吏全部ニ配付シ之ヲ使用セシメ又各學校工場主ト協議シテ職員生徒職工ニ使用セシメ或ハ警察官吏ヲシテ其受持内住民ニ之カ使用方ヲ督勵シタル結果使用者續出シテ一時ハ需要ニ應シ得ルノ生産ヲ得難キ結果製造者又ハ小賣人ニ於テ非常ノ暴利ヲ貪リタルヨリ公益事業トシテ各地ニ實費提供ヲ以テ販賣スルモノ續出シテ廣ク一般ニ「マスク」ノ使用者ヲ認メ得タリト雖モ寒村僻地ニ至リテハ學校其他一部ノ智識階級者ノミニ實行セラレ使用者少キ箇所アリタリ、含嗽ハ感冒患者ニ於テハ多ク實行セラレタルモ健康者ニシテ豫防上實行シタルモノハ官吏衛生關係者等ニ限ラレタル如ク「マスク」使用者ニ比較シテ僅少ナルヲ認メタリ

富山縣「マスク」ノ使用ヲ獎勵センカ爲メ官公吏ヲシテ卒先之ヲ使用セシメタリ理髮營業者、産婆、看護婦、按摩、鍼灸術營業者等ニ對シテハ専ラ之レヲ使用セシメ劇場、寄席、活動寫真館等ノ入口ニハ、入場者ハ呼吸保護器ヲ使用セラルヘシトノ張札ヲ掲ケ木戸口ニ於テハ各人ニ對シ「マスク」ノ使用方ヲ注意セシメタリ、工場ハ概ネ工場主ニ於テ作製ノ上使用セシメタリ學校職員生徒ニハ一般ニ普及セラレ之ヲ使用スルモノ多カリキ縣廳ニ於テハ各課ニ含嗽劑ヲ配付シ之レカ實

行ノ範ヲ示セリ

鳥取縣 「マスク」ノ使用及含嗽ノ勵行ハ豫防上相當效果アル故ニ之カ普及勵行ニ就テモ亦大意ヲ用ヒ特ニ「マスク」ノ如キハ原料廉價ニシテ而モ製法簡易ナル雛形ヲ一般ニ示シ以テ各家庭ニ於テ調製使用スヘク指導シ又市町村小學校婦人會等ニ於テモ簡易ナル「マスク」ヲ調製シ實費ヲ以テ配布シタルモノ不尠又鳥取警察署ノ如キハ簡易ナル「マスク」一個三錢乃至三錢五厘ヲ調製セシメ原價ニテ市内各巡查派出所ニ於テ廉賣シ之カ普及ニ努ムルト共ニ一面奸商ノ不正手段ヲ抑壓シ其ノ他劇場、寄席、活動寫真館等興行場ニ在リテハ興行主ニ於テ入場者ニ對シ簡易ナル「マスク」ヲ無料給與シ以テ觀覽者ニシテ「マスク」ヲ使用セサル者ナカラシムル等之カ普及ニ努メタル結果市街地ハ素ヨリ山間僻地ト雖モ大半ハ「マスク」ヲ使用セルヲ見受ケタル狀況ナリ含嗽ノ勵行ニ就キテモ亦一般ノ實行ヲ促シタルモ「マスク」使用ニ比シ稍々手數ヲ要スルカ故ニ主トシテ有識階級間ニ行ハレ「マスク」ノ如ク一般ニ普及セザリシ憾アリシカ如シ

島根縣 各地方ニ於ケル各團體員ヲシテ卒先實行セシメ以テ漸次一般ニ及ホシタルモ最初ハ「マスク」ノ如キハ美ヲ競フノ嫌アリテ下流ニハ之カ使用ヲ躊躇スルノ傾向ヲ生シタルヲ以テ輕便ナル「マスク」製造方法ヲ教示シ且「マスク」販賣店等ニ交渉實費販賣ヲ爲サシメ需要者ノ便宜ヲ與ヘ其ノ普及ヲ圖リタリ

岡山縣 一般ニ其必要ヲ周知セシメ「マスク」ノ如キ縣當局ニ於テ購入方ノ斡旋ヲ爲シ又地方ニ於テハ共同購入ヲナシ或ハ小學校生徒ヲシテ之ヲ作製セシメ實費ニテ配付シ貧困者ニハ無償ニテ給與セリ殊ニ工場ニテハ工場主ヲシテ職工ニ對シ給與シタリ含嗽ハ主トシテ工場、學校等ニテ行ハレタリ

廣島縣 「マスク」使用ヲ獎勵シタル結果學校、工場等ニ於テ使用スル者多ク一般人ニモ流行時之レヲ用ユル者多數見受ケラレタリ

山口縣 「マスク」含嗽ノ獎勵ニ就テハ各種ノ形式ニヨリ郡市長、警察署長、學校校長ニ對シ之カ實行ニ努メシモ使用者ノ主ナルモノハ學校兒童生徒、官公吏等ニシテ汎ク之ヲ實行スルニ至ラス

和歌山縣 大正七、八年流行時ニ於テハ「マスク」使用含嗽獎勵ノ宣傳方法トシテ市町村民學校工場ニ對シ衛生講話ヲ勵行シ一面「ボスター」其他ノ印刷注意書ヲ各戸ニ配付シ且ツ各要所ニ揭示スル等ノ方法ニ依リ一般ニ周知セシメタル結果健康者ハ勿論患者ノ附添人、看護者又ハ其家族ハ嚴重ニ之ヲ實行セリ。而シテ最初之レカ喚起手段トシテ初發期ニ於テ警察官吏及ヒ其他ノ官公吏學校職員生徒兒童ニ卒先シテ「マスク」使用含嗽ノ實行ヲ爲サシメタル結果各會社工場ノ職員、職工ヨリ進ミテ一般民人ノ之ニ倣フモノ次第ニ増加セリ大正八、九年流行時ニ於テハ前年ト同一宣傳方法ニ依リタル外「マスク」ハ縣ニ於テ材料ヲ購入シ縣立工業學校、師範學校女子部、高等女學校ニ其製作ヲ囑託シ之ヲ實費ニテ縣民ニ配付シ以テ「マスク」使用ヲ獎勵シタルヨリ前年ニ比シ一屬多數實行ヲ見ルニ至レリ

香川縣 大正七年流行性感冒發生スルヤ「マスク」ノ使用ハ流感豫防上ニ有效ナルヘキヲ汎ク周知セシメ之レカ普及ニ努力セリ。大正八、九年ノ流行ニ於テハ警察官吏等ニハ無償支給シ其ノ他郡市町村吏員ヲシテ卒先之レヲ使用セシメ學校生徒兒童ニハ登校時「マスク」ノ使用ヲ強制シ大正九年一月ヨリ興行場ニ入ル觀覽客ニ對シテハ興行主ヲシテ「マスク」ヲ使用セサル者ハ觀覽ヲ謝絶セシメタルニ興業主ハ何レモ自費ヲ以テ觀客ニ「マスク」ヲ提供セリ、前年ニ比シ一般ニ「マスク」ヲ使用スル者著シク増加セシヲ認メタリ



愛媛縣 縣下各校生徒全部及各工場ノ職工全部警察官等ニ對シ「マスク」ヲ使用セシメタルノミナラス廣ク之ヲ獎勵シタル結果流行期ニ於テハ外出ノ際ハ過半之ヲ使用スルニ至レリ。尙一部ニ「マスク」ノ普及セサルコトヲ慮リ縣衛生課ハ勿論各郡市役所、町村役場、警察官署ヲシテ其ノ購入ノ周旋ヲ爲サシメタリ縣衛生課ニ於テ取次キタル個數ハ松山監獄ヨリノ一千百五十個其ノ他ヲ合セテ二千七百五十個ニシテ實費ヲ以テ工場其他ヘ配布シタリ

高知縣 「マスク」ノ製造方法ハ一般ニ提示セルモ之カ普及上遺憾ノ點尠カラス依テ縣衛生會ヲシテ各女學校ニ交渉シ無償ヲ以テ女生徒ヲシテ作ラシメ興行場ニ委託シ入場者ニ對シ實費五錢ニテ販賣セシム各學校生徒、職工其ノ他接摩業者等ニ對シテハ「マスク」強制使用ヲ督勵シ興行觀客汽船ノ乗船者ヲシテ「マスク」ヲ使用セサル者ハ入場、乗船ヲ拒絕セシメタリ

福岡縣 「マスク」含嗽ノ使用ヲ獎勵セシムル爲豫メ警察官吏ニ之ヲ強制命令シテ流行時使用セシムルコトトシ呼吸保護器ハ「ガーゼ」ヲ以テ簡易ニ調製配付シ含嗽藥ハ千倍ノ沃度加里、沃度丁澱水ヲ配付シタリ

大分縣 赤十字社大分支部ハ「マスク」材料ヲ縣下十三萬ノ小學兒童ニ分配シ又警察署ニ於テモ「マスク」ノ作製ヲナシ見本のニ各町村ニ配布シ之カ製作使用ヲ獎勵シタリ

佐賀縣 廳員、警察署員、郡市役場員等卒先シテ之ヲ實行シ一般ノ範ヲ示スニ努メ「マスク」各員ニ配布シ又「マスク」含嗽藥等ノ製法使用法等ニ關シテ詳細ニ指示シ劇場等多數集合ノ個所ニハ「マスク」ヲ販賣セシメ之ヲ使用セサル者ハ入場ヲ拒絕シ町村等ニ向テ貧困者ニハ無料給與セシムル等ノ方法ヲ講スル等可及的之ヲ獎勵セリト雖モ其ノ效果尙充分ナラスシテ一時學校等ニ於テハ勵行セラレシモ一般ノ者ニ在リテハ之ヲ實行スルモノ多カラサリシ如シ

熊本縣 縣所屬職員ハ全部「マスク」ノ使用ヲ實行シ又含嗽藥ノ共同購入等ノ方法ニ付テ一般ニ指示シタリ熊本市内ノ理髮營業者ニ對シテ「マスク」ノ使用及ヒ含嗽ノ實行ヲ命シ貸座敷業者ニ對シテハ娼妓其他家族雇人ニ對シ樓主ノ負擔ヲ以テ「マスク」及含嗽藥ヲ給與セシメタリ其ノ他學校兒童一般ニ於テモ之レカ使用ヲナセル者尠カラス

宮崎縣 含嗽ハ前流行時ニ在リテハ專ラ講演ニ依リ之ヲ獎勵シタリシモ後流行時ニ際シテハ「マスク」ノ使用ヲモ加ヘ宣傳、ピラ」ヲ以テ或ハ講演ヲ以テ極力宣傳高唱シ且ツ坊間ニ販賣セル「マスク」ハ其ノ價額高ク一般使用ノ上ニ支障ヲ來スコト多カリシヲ以テ縣ニ於テハ直接之ヲ製造シ原價ヲ以テ提供スル等其ノ術ニ當リ一般ノ普及ヲ圖レリ

鹿児島縣 本縣ニ於テハ告諭ヲ發シテ「マスク」ノ使用含嗽ノ勵行ヲ獎勵シタル爲メ一般ニ「マスク」使用ノ實行ヲ認メ又學校生徒ニ對シテハ學校ニ於テ「マスク」ヲ調製使用セシメタル地方モアリ尙私立衛生會ニ於テモ「マスク」ヲ製造シ實費ニテ市町村ノ需用ニ應セシメタリ

沖繩縣 「マスク」及含嗽ノ效用ニ就テハ一般民ニ於テ之ヲ知悉セス從テ容易ニ行ハレ難キヲ認メ先ツ學校教職員及生徒並官公吏ニ對シ之ヲ勵行シ漸次一般民ニ其使用方ノ勸誘ヲナシ演劇場、活動寫真館ノ入場者ニ「マスク」使用ヲ強要セシメタル等ニ因リテ市部ニ於テハ相當ノ效果ヲ舉ケタルモ郡部ハ上流階級及學校兒童教員官吏ノ一少部分ニ之カ實行ヲ見タルノミナリ尤モ郡部ニ於テハ郡落ノ規約ヲ以テ自衛的ニ之ヲ強要シ違反者ニ對シテハ違約金ヲ徴シタルモノアリタリ此等ノ郡落ハ相當ニ普及セラレタリ

三、豫防接種ノ獎勵

豫防接種ニ關シテハ別項ニ於テ詳説セルカ如ク本病ノ病原ニ關スル學者ノ説未タ一致ヲ見

ス之カ效果ニ就テモ學者ノ論争スル所ナリシカ其ノ後幾多ノ實驗ヲ經テ一般ニ相當效果アルヲ認メラルルニ至リタレハ大正八、九年ノ後流行時ニ於テ本省ハ通牒又ハ豫防心得書等ヲ以テ之カ接種ヲ奨励セリ

今各府縣ニ於ケル豫防接種施行ノ概況ヲ舉クレハ或ハ縣費ヲ以テ廳員、警察官、中小學校職員生徒兒童ノ大部分ニ無料接種ヲ施行セルアリ或ハ貧窮者、接客業者ニ對シ無料施行セルアリ或ハ市町村公私團體ニ於テ施行セル豫防接種ノ費用ニ對シ一定ノ縣費補助ヲナシタルアリ茨城縣ノ如キハ赤十字社支部ノ活動ニ據リ市部、郡部ノ流行部落民ニ對シ無料接種ヲ行ヒタリ又東京市ニテハ市費ヲ以テ市内三十三箇所ニ豫防注射所ヲ開設シ種痘囑託醫ヲシテ之ニ從事セシメ細民ニハ無料ニテ行ヒ東京醫學士會ハ細民ノ爲メ夜間無料接種ヲ施行シ一般利福ノ爲ニ活動シ汎ク普及ヲ圖リタリ神奈川縣ノ如キハ豫防接種ヲ以テ本病ニ對スル唯一ノ積極的豫防法トナシ縣自ラ豫防液ヲ製造シテ廣ク縣下ニ配布シ極力之カ普及徹底ニ努メタリ

豫防注射ノ實施ニ當リテハ各地ニ臨時豫防接種所ヲ設ケテ防疫職員ヲシテ希望者ニ對シ接種セシメタルアリ或ハ豫防注射班ヲ組織シテ各地ヲ巡回シ現ニ流行シ又ハ流行ノ虞アル地方ノ住民ニ對シ施行セルアリ或ハ開業醫師ニ豫約シテ毎日數人宛交替シテ之ニ當ラシメタルアリ各府縣ニ於テ專ラ普及ヲ奨励セル結果大正九年一、二月ノ流行猖獗時ニアリテハ注射希望者激増シ各地豫防液製造所ニ於テハ之カ製造ニ全力ヲ盡セルモ到底殺到スル需要ニ應スル能ハス遂ニ豫防液不足ノ爲メ豫定ノ實施ヲ見スシテ終リタル府縣亦尠カラサリシカ如シ

各府縣ニ於テ豫防接種ヲ受ケタル人員ノ概數ヲ舉クレバ左ノ如ク合計四百六十四萬五千五百五十八人ノ多數ニ上リ其ノ數不明ナル大阪府其ノ他二三府縣ニ於ケル注射人員ヲ加フルト

キハ優ニ五百萬人以上ニ達スヘシ

府縣別流行性感胃豫防接種者人員

東京	五九一、七七〇	山梨	六三、〇〇〇	廣島	二一、六九〇
京都	三一、八九二	長野	二四、五九八	山口	不
大阪	不	岐阜	一八、六九〇	徳島	一八、七九〇
神戶	二二四、一七九	富山	一六四、六一三	島根	二八、五七九
兵庫	六五、二九六	石川	一九、四三八	川島	一六、八二六
長門	二八、三六六	福井	一七八、九四九	愛媛	三一、八六四
新加	六九五、二七四	高松	三九、七九七	香川	不
埼玉	三三〇、五五九	岡山	一〇一、一五九	備前	不
群馬	一五、〇〇〇	大分	二七五、三二七	備後	三七、五七二
千葉	二〇〇、三二四	福岡	一三五、九二八	阿蘇	五、〇〇〇
茨城	二四一、八五一	佐賀	六七、四七二	分志	二九、六三七
栃木	一三六、八三八	熊本	六二四	本庄	五三、三六一
群馬	二一、八一六	鹿兒島	二六、四六四	本庄	不
奈良	三四、七三六	神戶	四八、八一六	鹿兒島	一三、六二九
三重	五四、四九七	北九州	二四、七八五	鹿兒島	四三、四四二
愛知	一七二、六〇一	計	五四、七二一	鹿兒島	二五五、七九八
靜岡				道	四、六四五、五五八

北海道 本省ノ示達ニ基キ流行性感胃豫防接種ヲ奨励シ全道ニ於ケル豫防接種者二十五萬五千八百人ニ達セリ

東京府 一般民衆ニ對シ豫防接種ヲ奨励スルニハ自ラ範ヲ示スノ必要ヲ認メ當警視廳細菌検査所ヲシテ豫防液ヲ製造セシメ廳員及各署員ニ豫防接種ヲ施行シタリ尙東京市ニ於テハ經費

四萬七千圓ヲ計上シ市内三十三ヶ所ニ豫防注射所ヲ開設シ種痘囑託醫ヲシテ之ニ從事セシメ細民ニ對シテハ無料種接ヲ行ヒタリ東京市電氣局ニ於テハ局員ノ全部ニ豫防接種ヲ行ヒタリ、醫士會ニ於テハ主トシテ市細民ノ爲メ夜間無料注射所ヲ開設スヘキ旨申出アリタレハ關係警察署長ヲシテ轉旋セシメタル結果左記十箇所ニ於テ接種ヲ施行シタリ

本所區永倉町二、本所小學校。本所柳島梅森町養育會本所病院。本鄉區千駄木町日本醫學專門學校附屬醫院。赤坂區役所。深川區猿江裏町重願寺。四谷區谷町一、鉸ヶ橋小學校。下谷區坂本警察署。小石川區表町大黒堂。淺草區橋場町同情院。麻布區弁町弁小學校

新聞社、工場。小學校其他團體ニ於テ豫防接種ヲ施行シタルモノ抄カラス本廳ニ於テハ府費二萬九千二百五十四圓ノ支出ヲ得テ市郡ヲ通シテ比較的資力ニ乏シキ者ニ對シ無料接種ヲ施行スル計畫ヲ以テ郡部ハ豫防液及消耗品ヲ配布シテ各町村ヲシテ施行セシメ東京市内ハ警視廳ニ於テ巡回接種班ヲ編成シテ主トシテ細民部落ニ施行スルト共ニ各區醫師會ニ交渉シ施術ヲ無料提供セシメ各警察署ヲ督シテ之カ實施普及ニ努メタリ

京都府 初メ廳員及警察官吏ニ對シ豫防接種ヲ受ケシメテ其ノ範ヲ示シ之カ實行ヲ市町村及衛生組合等ニ督勵シタルニ京都市内衛生組合並ニ貸座敷組合及理髮業組合其ノ他接客業者組合ノ活動スル處トナリ各組合ニ於テ無料或ハ實費ヲ以テ實施スルニ至リタルニ付キ當府多クハ之カ指導監督ノ爲メ防疫官技師其他ノ技術者ヲ派遣シ之ヲ援助シテ獎勵ヲ圖リタルヲ以テ大ナル普及ヲ見タリ郡市町村等ニ於テ實施ノ監督及獎勵ノ爲メ技術者ノ派遣ヲ乞フ者多ク之カ爲メ技術者ニ於テハ專ラ力ヲ之ニ傾注シタリ依テ豫防接種ハ著シク普及セラレタリ

大阪府 豫防液ハ其ノ價額比較的廉ナラサルカ故ニ普及稍々困難ナリシモ極力勸奨ノ結果相

當效果ヲ擧ケ得タリ尙大阪府ニアリテモワクチンノ製造ヲナシ直接豫防ノ術ニ當ル警察官廳員並ニ公立學校寄宿生等ニ接種シタリ

神奈川縣 大正八年春季本縣ニ於テハ流行性感冒ノ病原ナリト信スルバイフェル氏菌ヲ以テ感作ワクチンヲ創製シ實驗ヲ經タル後一般ニ應用スヘク各方面ニ勸誘ヲ試ミタリ時恰モ流行ノ極期ニアリシ爲メ縣下ノ開業醫、汽船會社、學校、衛生組合、工場等ニ於テ使用スル者多數ニ昇リ右ワクチンノ豫防接種ヲ受ケタル者二萬二千餘人ニ達シタリ此ノ結果相當ノ效果ヲ收メ得タルヲ以テ大正八、九年流行時ニハ廣ク之カ施行ヲ獎勵シ普及ニ努メタル爲メ横須賀海軍工廠ヲ始メ各開業醫師、病院學校、工場其ノ他團體ヨリ申込殺到シ大正九年六月末日迄ニ豫防液三十七萬六千八百八十瓦ヲ配布シタリ

兵庫縣 神戸市ニ於テハ豫防注射班ヲ設置シ市民希望者ニ對シテ豫防接種ヲ行ヒタルカ之ヲ受ケタルモノノ概數ハ六萬五千餘人ニ達セリ

長崎縣 東京其ノ他各地豫防液製造所ニ於テハ購入申込殺到シ到底需要ヲ滿ス能ハサルノ狀況ナリシヲ以テ本縣細菌検査所ニ於テハ豫防液ヲ製造シ低廉ナル料金ニテ各町村ヘ分與シ以テ應急ノ場合ニ適應スル處アラシメタリ長崎、佐世保兩市役所ニ於テハ一般ニ無料ヲ以テ豫防注射ヲ行ヒタリ

新潟縣 豫防接種ニ關シテハ極力宣傳普及ニ努メ且ツ流行ノ兆アルヤ部落、學校、工場等ニハ速カニ之レカ施行ヲ獎勵シ一方醫師會ト協力シテ之レヲ低廉ニ施行スルニ努メ又新潟縣私立衛生會郡市支會ニテハ無料注射ヲ行ヒタリ如上獎勵ノ結果、ワクチン接種ヲ受ケタル者總計六十九萬五千餘人ノ多數ニ上リタリ

埼玉縣 豫防接種ノ普及方法ニ付テハ都市警察官署ト協力シ町村ヲ指導獎勵スルト同時ニ十分ノ便宜ヲ圖リ尙個人ニ對シテハ警察官ニ於テ戸口調査ヲ利用シ或ハ各町村衛生役員ヲシテ各戸ノ健康視察ヲナサシムルニ際シ之カ施行ヲ勸誘シ未濟者ニ對シ普ク施行スルノ方法ヲ採ラシメタリ

群馬縣 豫防接種ヲ宣傳シタル結果學校工場及市町村ニシテ之レヲ希望スル者續出シ縣ニ向ヒ購入方ヲ依頼シ來ル者日ニ數千人分ノ多キニ達セルノ狀況ニアリタリ尙警察員約六百人ニ對シ縣費ニテ「ワクチン」ヲ購入シ豫防接種ヲ施行セリ

千葉縣 豫防接種ハ一般ニ對シ極力督勵ヲ加フルト共ニ直接豫防事務ニ從事スル警察官吏縣郡吏員等ニ施行シテ範ヲ示シ尙縣費ヲ以テ娼妓全部ニ接種ヲ施行セリ其他各開業醫ヲ初メ各町村ニ於テモ夫々接種ヲ開始シ豫防ニ努メタリト雖モ如何ヘン豫防液不足ヲ告ケ全部ニ之ヲ施行スルヲ得ナリシハ遺憾トセルトコナリ

茨城縣 豫防接種ハ先ツ廳員ニ行ヒタル外學校職員生徒郡役所町村役場員警察官吏及接客業者劇場寄席活動寫真館等ノ從業者ニ對シテモ之レヲ行ヒ尙赤十字社本縣支部ニ於ケル無料接種ハ市部及郡部ニ於テハ流行部落ノ一般民ニ對シ行ヒテ相當見ルヘキ成績ヲ得タリ

栃木縣 一般ニ之レヲ獎勵シ一面醫師會ノ活動ヲ促シ之カ普及ヲ圖リタル結果一般民ニシテ之レヲ受ケタル者多ク又鐵山工場等ニ於テ團體ニテ之レヲ受ケタル者多カリキ

奈良縣 豫防注射ハ學校工場等ニ於テ之レカ施行ヲ希望スル者多ク豫防液ハ縣ニ於テ購入シ置キ之等ノ需要ニ應シ願與スルノ方法ヲトリ地方ニ於テモ醫師ニ付キ接種ヲ受ケタル者多クニ及ヘリ

三重縣 縣ニ於テ豫防接種ヲ懲進シタル結果相當數ノ實行ヲ爲シ得タリ

愛知縣 告諭又ハ「ボスタ」豫防心得等ニヨリ「ワクチン」接種ヲ獎勵シタリ

静岡縣 豫防接種ヲ一般ニ獎勵スル爲メ縣費二千六百圓ヲ支出シ注射液一千四百六十六本ヲ購ヒ縣下市町村ニ無料配布ヲナシ市町村ハ右液ヲ醫師ニ交付シ無料接種ヲナセリ其他<sup>財團</sup>濟生會ヨリ金二百九十四圓ヲ支出シ接種液百六十三本ヲ購ヒ御用邸所在地ナル靜浦村住民並ニ沼津町ニ於ケル御用邸出入者ニ對シ警察醫ヲ派遣シテ豫防接種ヲ施行セリ其他市町村費ヲ以テ購入シ注射ヲ行ヒタル所モアリタリ

山梨縣 本病豫防撲滅ノ爲縣費二千五百圓ヲ計上シ縣立學校職員生徒全部及縣廳職員警察署分署員郡役所員山梨看護婦會看護婦ニ對シテ豫防接種ヲ施行セリ

滋賀縣 豫防方法獎勵ノ爲市町村其他公私團體ノ經費ヲ以テ豫防接種ヲ實施スル向キニ關シ其支出額ノ二分ノ一ヲ縣費ヨリ補助シ尙<sup>財團</sup>濟生會ノ被救療者及家族ニ關シテハ同會ノ救療費ヲ以テ無料注射ヲ施行シタリ

長野縣 豫防心得書其ノ他衛生講話等ニヨリテ豫防接種ヲ獎勵シタル爲一般ニ希望スル者多ク本接種ヲ受ケタル者縣下ヲ通シテ十六萬四千餘人ヲ算シタリ

福島縣 豫防接種ヲ獎勵シ貧困者ニ對シテハ市町村費又ハ公私救療團體ヲシテ無料接種ノ方法ヲ督勵シ不敢取縣費ヨリ百三十二圓ヲ支出シ先ツ警察部員及流行地警察官吏ニ接種シ一般ニ對シテハ金一千五百圓ノ豫算ヲ以テ一萬人ノ無料接種ヲ行フ計畫ヲ樹テ各市町村ノ希望者ニ接種ヲ行ヘリ

鹿手縣 豫防接種獎勵ノ一端トシテ貧民ニ對シ無料接種ヲ行ヒタリ



青森縣 初メ弘前聯隊及其ノ附近ニ流行ノ微アルヤ直ニ警察醫ヲ派シテ其ノ附近一般希望者ニ豫防接種ヲ施行シタリ警察醫在勤地ニ於テハ每週二回日ヲ定メ一般希望者ニ對シ實費ヲ以テ豫防接種ヲ施行シ市町村立學校ニ對シテモ可成豫防接種ヲ行ハシメタリ一般開業醫師ニ於テモ注射希望者ニ對シテハ接種料其他特別ノ便宜ヲ與ヘラレ度旨醫師會長ニ通牒シ之レカ普及ニ努メタリ

山形縣 之レカ普及徹底ヲ計リタル結果本縣ニ於テハ豫防接種ヲ受ケタル者一回二回合セテ二十七萬五千餘人餘ニ達セリ

福井縣 流感ヲクチン普及ニ關シテハ自動車其他新聞紙等ニヨリテ宣傳ヲナシ希望者ニ對シテハ何人ヲ問ハス實費ヲ以テ之ヲ行フ計畫ヲ樹テタルヲ以テ機業工場其他ノ町村長ヨリ施行方ヲ申出タル者多カリシカ一時「ワクチン」不足ヲ告ケ配給充分ナラザリキ

廣島縣 豫防接種ハ縣費ニテ注射液ヲ購入シ縣廳郡役所及警察署吏員ニ無料ニテ接種ヲ行ヒ一般ニ範ヲ示シタリ工場其他ノ團體ニテ注射ヲ行ヒタルモノ多シ

愛媛縣 縣内各市町村ノ縣稅免除者約六萬人ニ對シ無料ニテ豫防接種ヲ爲スタメ醫師一名看護婦一名ヨリ成ル接種班五班ヲ組織シ交通便利ナル地ニ向ハシテ交通不便ナル地ニ就テハ醫師一名防疫監吏一名ノ自動車班三班ヲ編成シ活動ヲ企畫シ一面該班ニ於テ其ノ町村ニ於ケル貧民外ノ注射希望者ニハ「ワクチン」原價ヲ徵收(一人約金十五錢)シ「ワクチン」ヲ供給シ能フ限り接種ヲ行ヒタリ而シテ該「ワクチン」代金一萬圓ハ五千圓ヲ縣費ヨリ五千圓ヲ財團濟生會ヨリ支出シ其ノ他消毒藥品費消耗品費五百二十五圓旅費防疫職員ヲ除ク六百五十圓通信運搬費五十圓自轉車二臺購買費三百圓ヲ縣費ヨリ支出ス右ノ如ク準備整ヒタルモ各地豫防液製造所ニ於ケ

ル豫防液拂底ノ結果纏マリタル數量到着セス爲メ二三班ノ外ハ活動シ得サル狀態ニアリタリ

熊本縣 一般ニ豫防接種ノ徹底ヲ計ルヘク熊本縣衛生會ニ於テ多數ノ「ワクチン」ヲ準備シ各方而ヘ配布ノ便ヲ與ヘタリ尙豫防接種希望者多數アル部落ニ對シテハ衛生會ト縣衛生課ト協力シ警察醫ヲ派シ無料ニテ或ハ藥品ノ實費ヲ徵シ接種ヲ行ヒタリ又町村ニ於テハ貧困者ニ對シ町村醫ヲシテ無料接種ヲ施行セシメタルモアリタリ

四、學校工場其ノ他多衆集合ニ對スル施設

(イ) 學校ニ對スル施設

學校内ニ二三ノ患者發生スルトキハ忽チ周圍ノ生徒兒童ニ傳播シテ集團的流行ヲ來セル例多ク殊ニ學校寄宿舎等ニ於テ屢々遭遇シタリ。故ニ各府縣ニ於テハ中等學校、小學校ニ對シテ相當ノ考慮ヲ拂ヒ當局ヨリ指示其ノ他ノ方法ヲ以テ或ハ溫度及濕度ノ調節ニ注意セシメ且ツ含嗽及唾痰ノ消毒ヲ獎勵シ含嗽劑ノ配給、唾壺ノ備付ヲ爲サシメ或ハ罹患生徒兒童ノ登校ヲ禁止シ學校内又ハ其ノ附近ニ本病流行ノ微アル時ハ其ノ狀況ニヨリ全部又ハ一部ヲ閉鎖シテ時機ヲ短ラサル様注意シ或ハ學校ニ檢溫器ヲ備付ケ三十七度五分以上ノ生徒又ハ兒童ハ登校ヲ停止シ又ハ暖室アルモノニハ教室内ニテ「マスク」ヲ使用セシメ室外ニテハ健康者ニモ一般ニ使用セシメタルアリ、或ハ生徒ノ健康狀態ヲ注意シ有熱者ハ勿論頭痛、咽頭痛、咳嗽等ヲ訴フルモノハ他ノ生徒ト隔離シ校醫ノ診察ヲ受ケシメ流行性感胃ノ疑アルモノハ登校ヲ一時遠慮セシメタルアリ或ハ豫防注射ヲ獎勵シ生徒全部ニ對シ無料豫防注射ヲ行ヒタルモノハ抄カラス

各府縣ニ於ケル學校ニ對スル施設ノ狀況ヲ通觀スルニ最モ勵行セラレタルハ「マスク」ノ使用

ニシテ職員生徒ノ別ナク流行猖獗時ニハ之レヲ使用スルモノ多數ニ及ヒタリ。豫防接種ハ相當普及シ流行激シキ市町村ニ於ケル生徒兒童中ニハ殊ニ接種ヲ希望スルモノ多ク寧ロ豫防疫不足ヲ祈フルノ状態ニアリシ處尠カラサリキ、學校内又ハ其ノ周圍村落ニ流行ノ徴アルトキ一時學校ヲ閉鎖スルハソノ傳播ヲ斷チ禍ヲ尠カラシムル上ニ效果大ナルヘキヲ以テ斯ル場合ニハ機宜ノ處置ヲ採ル様獎勵シタルカ爲メ學校ノ全部又ハ一部分ヲ閉鎖セル處亦尠カラサリキ。然レトモソノ多クハ閉鎖ノ時期遅レ既ニ多數兒童ノ本病ニ犯サレ缺席者増加シ止ムナク閉鎖セルモノ多カリシハ遺憾ナルカ當時ノ事情亦止ムナキモノナリ

(ロ)工場ニ對スル施設

工場ニ對スル豫防施設ハ要之各工場ニハ警察官吏又ハ工場監督官吏ヲ派遣シテ本病ノ豫防施設ヲ督勵セシメ且ツ其ノ經費ヲモ工場主ニ於テ負擔セシムヘク慈惠シタルモノ多ク或ハ室内ノ溫度、換氣等ニ注意セシメ或ハ職工ニ對シテ「マスク」及含嗽藥ヲ支給セシメ或ハ唾痰消毒ノ施設ヲナサシメ或ハ通勤職工、寄宿職工ノ作業所ヲ區別セシメ或ハ一定醫師ノ證明ヲ受ケタルモノニハ休業中モソノ生活上相當ノ考慮ヲナサシメ或ハ寄宿舎内ニ隔離室ヲ作ラシメテ寄宿職工ノ罹患セルモノヲ隔離セシムルノ方法ヲ講セルモアリ、尙新シク職工ヲ雇入ルルニ際シテハ相當期間就業セシメス其ノ間時々醫師ノ診察ヲ受ケシメタルニアリキ、流行時期ニ一定期間作業ヲ休止シテ本病ニヨル被害ヲ防クハ亦機ヲ得ル措置ニシテ各府縣ニ於ケル工場休業ノ狀況ハ別表ヲ參照スヘシ

(ハ)多衆集合ニ對スル施設

本病ノ傳染機轉ヨリ見ルモ多衆ノ集合ハ最モ危險ナルヲ以テ之ニ對スル施設ハ實ニ重要ナ

ルモ亦最モ困難トスル所ナリ、之ニ對スル各府縣ノ狀況ヲ見ルニ各種集會ハ止ムヲ得サルモノノ外ハナルヘク見合ハサシメ又ハ延期セシメタルモ禁止シタル例ハ殆ト之ヲ見ス只自發的ニ葬祭、慶事披露等ヲ流行期間中見合ハシタル例乏シカラス。興行場ノ入場者又ハ電車、汽船、船舶等ノ乗客ニ對シテハ格段ノ注意ヲナセリ、即縣令其他ノ令達ヲ以テ「マスク」ヲ使用セサレハ入場セシメス若クハ乗込マシメサルノ方法ヲ講セルアリ、或ハ興行場主ト協議ヲ遂ケ咳嚏其ノ他感冒ノ症狀アル者ハ入場ヲ拒絕セシメタルアリ或ハ興行場入口ニ必ス「マスク」ヲ使用セラレ度キ旨揭示シ入場券ト共ニ「マスク」ヲ廉賣シタルアリ或ハ興行場主ニ於テ流行猖獗時卒先シ一時的閉鎖ヲナシタルアリ、其ノ他一二ノ特殊ナル施設ヲ見タル府縣モアリシカ又單ニ豫防心得書中ニ多衆ノ集合ニ對スル注意事項ヲ記載シ一般ノ注意ヲ喚起スルニ止マリタルモノ少カラサリキ

左ニ學校工場ノ一時的閉鎖ニ關スル各府縣ノ狀況ヲ掲クヘシ

府 道 廳 及 縣	學 校 ノ 閉 鎖	工 場 ノ 閉 鎖
北 海 道	小學校ニ於テ流感ノ爲缺席兒童多數ニ上リ一時休校セルモノ數校アリ	
東 京	大正七、八年流行時小學校幼稚園合テ八十校ニ達シ期間ハ二三日ヨリ十日ニ及ヒ多クハ一週間前後ニシテ大正八、九年時ニハ十七校ニ達ス	大正七、八年流行時四、大正八、九年一時工場ノ閉鎖セルアリ
京 都	流行ノ狀況ニヨリ一週間乃至二週間ノ閉鎖ヲ政行セリ	多數ノモノハ流行時一二週ノ閉鎖ヲ行ヒタリ
長 崎	大正七、八年流行時百八十六校ニ達シ内市部四十三校 大正八、九年時ニハ百十七校ニシテ内市部二十七校	前後ヲ通シテ一工場アリタルノミ
新 潟	大正七、八年時ニハ約五十校、大正八、九年時ニハ約百五十校	
埼 玉	學校ヲ一時的ニ閉鎖ナセルモノ三十九校アリ	
群 馬	大正九年一月以降ニ於テ六校アリ	

千	茨	栃	奈	三	愛	靜	滋	長	宮	岩	山	秋	福	石	富
小學校ニ於テ一週間乃至三週間休校セラルモノアリ	流行猖獗ノ形勢アル地方ノ小學校ニ對シテハ校内ニ蔓延セザルニ先テ一時休校ノ方途ヲ採リ大正九年一月以降休校セシモノナシ	小學校ニ於テ一週間乃至二週間休校セルモノ縣下ニテ二十九校アリ	小學校ノ過半ハ一週間乃至三週間休業セリ	縣立學校ニ於テ三校小學校三十五校	大正七、八年流行時ニハ過半全校休業シタルモノ大正八、九年流行時ニハ全校休業ハ流行稍烈シキ地方ニ於テ行ハレザリ	大正七、八年時六日以内閉鎖セルモノ十校七日乃至十日二十五校十一日以上十九日計五十四校ニ及ヘリ 大正八、九年時六日以内六校七日乃至十日二十七校十一日以上一校計三十四校ニ及ヘリ	白衛上各種學校ノ閉鎖ノ止ムナキニ至リタルモノ百四十餘校ニ及ヒ其一校ノ平均休校日數十餘日ニ達セリ	郡市ニ通シ三十八校ニシテ五日乃至三週間休校ノ尙流行期間中尋常一二年生ニ限リ登校セシメザリシモノアリ	十日以内ノ休校チナシタルモノ約二十餘校ニ達セリ	大正九年流行ニ於テ小學校五校閉鎖シ期間ハ五日乃至十四日	生徒児童ノ缺席多數ノ爲自然休校セルモノ尠カラズ	兒童間ニ患者多數發生ノ爲メ閉鎖セルモノ十數箇校アリ	大正七、八年流行時患者多數セル爲メ休校セルモノ縣下ニ通シ百十校其ノ罹病兒童數一萬八千八百八十四人ニ及ビ此ノ罹病率二七・九%ニ當リ大正八、九年時ニハ四校アリタルノミナリ	各學校ニ於テ學生生徒間ニ流行ノ兆アリタルトキ一週間乃至二週間休校セリ	小學校ニ於テ患者發生シ蔓延ノ徵アリタル爲メ一週間乃至二週間休校セルモノ二十數校ニ達セリ
		工場ニ一ヶ所休業セルモノアリ				大正七、八年時六日以内一工場、七日乃至十日五工場、十一日以上二工場、計八工場 大正八、九年時六日以内一工場、七日乃至十日三工場、計四工場					工場ニ於テモ學校ト同シク職工ノ缺勤増加ノ爲メ自然閉場セルモノアリ				

島	島	岡	廣	和	香	愛	福	大	佐	熊	鹿	神
小學校五十二、閉鎖日數四百八十五日、一校平均十日、中學校二七日間閉鎖セルモノ一校アリ	小學校二十二校ハ患者多數發生ノ結果三日乃至三週間休校セリ	市部ニハナシ郡部流行町村ニハ一部落ノ兒童ノ登校ヲ停止シ又ハ全校五日乃至三週間休校セルモノアリ、中等學校ノ休校セルモノ僅カニ二校アリ	大正七、八年時ニハ學校數四百七十四校大正八、九年時ニハ七十六校閉鎖セリ	流行ノ時期ニ於テ學校ハ三週間以内閉鎖セリ	小學校ニ於テ百八十七校中等學校二十四校ニ達セリ	何ノノ學校モ蔓延ノ徵アルモノ數日乃至數週間休校セリ	大正九年一月ノ流行ニ際シ休校セルモノ小學校中等學校ニ於テ十三校ニ達シ期日ハ三日乃至五日ナリ	流行ノ兆アルトキ休校チナシメタリ之カ爲休校セルモノ十校ニ及ヘリ期日ハ五日乃至十日	大正七、八年時閉鎖日數二百一校延日數一千五百五十三日、大正八、九年時四十三校延日數二百五十八校	多數患者發生ノ爲メ臨時閉鎖セルモノ尠カラズ	數日間長キハ四週間休校セリ	小學校、中等學校ニ於テ一時閉鎖セルモノ數校アリ
				工場ニ於テモ大多數同シク三週間以内閉鎖セリ					大正七、八年時一工場アリ休業日數五日	工場ニ於テモ一時的閉鎖セルモノアリ	職工多數休業ノ結果一時閉鎖セルモノアリ	

五、其ノ他ノ豫防施設

(1) 傳染病院隔離病舎ノ利用等

流行猖獗トナリ患者ノ發生益々増加スルトキハ一般病院ニ入院ノ上治療ヲ施スモノ亦從テ増加シ普通病室ノ狹隘難踏ヲ來ス場合尠カラズ遂ニ入院ヲ謝絶スルノ止ムナキ場合ニモ遭遇スルヲ以テ各府縣ニ於テハ本省ノ指示ニ則リ市町村ニ對シ傳染病院、隔離病舎ノ利用ヲ從應シ

一ハ一般病院ノ病室狹隘ヲ緩和シ一ハ患者隔離ヲ獎勵シテ傳染防止ノ一策トナシタルモ隔離病舎ハ多クハ其ノ設備極メテ不完全ニシテ一般ニ嫌疑セラレ入舎ヲ希望スルモノ殆ト之ヲ見サリシカ傳染病院ニアリテハ東京大阪京都等ノ大都市ニ於テハ一程度迄利用セラレタルモノノ如ク東京市ニ於テハ本所本久保病院ヲ開放シテ一般ノ需要ニ應ジ京都市ニテハ京都病院ヲ開放シタル結果入院ヲ希望スルモノ總計五百九十三人ニ達シ大阪市ハ市吏員ノ罹病セルモノ市立隔離所ニ隔離治療ヲ施シ良好ナル成績ヲ收メ新潟市ニテハ巡查教習生ノ多數罹患セルニ當リ市立傳染病院ニ收容シ治療ヲ行ヒタリ

自宅ニ於テ治療スルモノニ對シテハ何レノ府縣ニ於テモ成ル可ク別室ニ隔離シテ看護ノ任ニ當ルモノニハ「マスク」ノ使用ヲ獎勵スル等ノ方法ヲ講シタリ

(ロ) 本病死者ノ葬儀等

本病死者アリタル場合ハ成ル可ク假葬儀ニ止メシメテ多衆ノ會合ヲ避ケシメタル地方抄カラス或ハ普通葬儀ヲナサントスル時ハ一應町村長ニ申出テ許可ヲ受クヘキコトニ決議セル町村モアリ

其ノ他火葬場ノ雜踏ヲ緩和スル爲メニ東京市ニアリテハ火葬場所在ノ警察署衛生主任及經營者ヲ招致シ協議ヲ遂ケ晝夜二回ノ火葬ヲ行ヒ得ル手配ヲナサシメ之レヲ實行セシメタル結果流行激シキ時ハ二日三百人以上ノ死亡者ヲ出シタルニモ係ハラズ雜踏遲延ヲ稍々緩和セシメ得タリ尙混雜ノ際屍體ノ取扱ヲ疎漏ナカラシムル爲メ各火葬場ニ警察官吏ヲ配置シテ取締ニ從事セシメタリ

第二項 救療並各種公益團體活動ノ狀況

一、救療ノ狀況

豫防方法ニ對シテハ上述ノ如ク何レノ府縣ニ於テモ之カ對策ヲ定メ各種々ノ施設ヲ爲シ專ラ蔓延ノ防遏ニ努メタリト雖本病ノ傳染力激烈ニシテ蔓延ノ迅速ナル途ニ各地ニ於テ幾多ノ被害ヲ生ムニ至レリ、於是乎各地方ニ於テモ種々ナル救療施設ヲ爲シ之カ被害ノ輕減救助ニ努メタリ

貧困ニシテ治療ヲ受クルコト能ハサル患者ニ對スル救濟策ニ關シテハ府縣ニ於テ財團濟生會ノ活動ヲ見タルモノ多ク或ハ診療ヲ受ケシムル上ニ種々ナル手配ヲ省キ或ハ豫算ノ許ス範圍ニ於テ各受持巡查ヲシテ治療券ヲ携行セシメ隨時救療ヲ要スルモノニ交付スル等ノ方法ヲ講シタルアリ或ハ特ニ之カ豫算ヲ増額シテ廣ク救療ノ目的ニ副ハシメタルアリ

其ノ他村費ニテ又ハ村費ヨリ衛生組合ニ補助シテ無料診療ヲ行ヒ或ハ慈善救濟資金大禮恩賜賑恤資金等ヨリ出資シテ救濟ヲナセルアリ、大阪市ニ於テハ市内各區ニ一箇所宛ノ無料診療所ヲ設置シ貧困者ノ救濟ト一般人ニ對スル豫防注射トヲ行ヒタリ

流行熾烈トナルヤ看護婦ノ不足ヲ告ケタル處多ク斯ル地方ニアリテハ或ハ巡回看護ノ方法ヲトリ看護婦會ト協定シテナルヘク一戸ニ專屬ノ看護婦ヲ派出セス汎ク需要者ニ普及セシムルコトトシ或ハ臨時ニ看護婦採用試験ヲ行ヒテ之カ補充策ヲ講シタルアリ然レトモ斯ノ如キハ若干ノ緩和ヲナシ得タルニ過キサリキ

流行ニ因ル慘禍ハ更ラニ醫師ノ不足ニヨリテ擴大セララルニ至レリ、患者益々頻發シ醫師ハ



東奔西走終日診療ニ従事スルト雖尙汎ク患家ノ翹望ヲ滿スニ足ラス、醫療ヲ受クル能ハスシテ空シク床上ニ呻吟スルモノ尠カラス、甚シキニ至リテハ醫師モ亦本病ノ魔手ニ斃レ診療ノ途絶エタル地方アリ又ハ山間ノ僻地ニシテ醫師ノ來診ヲ受クルニ術ナク運命ノ儘ニ只恢復ヲ祈ルノ外ナキ地方モアリキ

斯クノ如ク地方ニ對シテハ府縣ハ防疫職員、醫師、藥劑師等ヲ急派シ應急ノ處置ヲトリ或ハ醫師看護婦等ヲ以テ救療班ヲ組織シテ一定期間滞在救療ニ従事セシメ或ハ赤十字社支部ニ於テ巡回診療班ヲ組織セルモノアリタリ、其ノ他警察署ト町役場ト協力シ町内篤志家ノ寄附ヲ俟テ其ノ贖金ヲ以テ救護班ヲ組織シ警察署主任トナリ一般患家ノ救療ヲナセルアリ、或ハ府縣ニ數箇所ノ救護班ヲ組織シ流行激シキ地方ニ對シ派遣診療ニ従事セシムルト共ニ部落民ニ對シ豫防接種ヲ施行シ又ハ縣ヨリ醫師或ハ看護婦ヲ流行地ニ派シテ豫防消毒看護ノ方法ヲ患家ニ就キ指示シ其ノ處置ヲ誤ラサラシメタルアリ又ハ衛戍病院ニ交渉シテ軍醫ノ派遣ヲ乞ヒ一時ノ急ヲ救ヒタルアリ

之レ等ノ措置ハ何レモ機宜ニ適シ相當ノ效果ヲ擧ケ得タリ、今各府縣ニ於ケル狀況ヲ摘記スレハ左ノ如シ

北海道 患者救療ニ付テハ各區町村ニ於テ一般開業醫師病院又ハ赤十字病院等ト連絡ヲ取り貧困者ニハ無料診療ヲ爲スノ方法ヲ執リタリ

東京府 患者増加スルニ伴ヒ私立病院ノ病室不足ヲ告グルニ至リシヲ以テ警察署長ニ指示シテ毎日其ノ收容力ヲ調査報告セシメ供給ノ圓滑ヲ計リ一面傳染病室ニ收容スルコトヲ認メタルモ到底其ノ需要ニ應スルコト能ハサルニ至リシヲ以テ東京市ニ交渉本所大久保病院ヲ開放

シテ之カ救療ヲ爲サシメタリ又患者ノ増加ニ伴ヒ看護婦ノ需要劇増シ中ニハ一家數人ヲ雇入ルルモノ等アルヲ以テ各看護婦會長ヲ招致シ一家ニ對シテハ成可ク一名ヲ派出スルコトニ協議セシメ應ニ於テ仲介シ其ノ需給ヲ圓滑ナラシメタリ

京都府 患者ノ救療トシテハ市内ニ救療班二組ヲ置キ市内各署ト協力シテ診療ニ従事セシメタル外市立京都傳染病院ニ於テ隨時無料患者ヲ入院セシメ其ノ他日本赤十字社京都支部ニ於ケル巡回診療班ノ援助等ニ依リ救療スル處尠ナカラス郡部ニ於テハ醫師ノ流患ニ罹リシ者モ尠カラズ甚シキニ至リテハ之カ爲メ診療ノ途絶ヘタルヲ以テ府ヨリ防疫職員又ハ醫師藥劑師等ヲ急派シ應急ノ措置ヲ施スト共ニ尙警察署長及町村長ヲ督勵シ此ノ際特ニ町村内ノ狀況ヲ注視セシメ貧困者ニシテ療養ノ途ナキ者ニ對シテハ町村ニ於テ財團濟生會ノ救療ヲ受ケシム等夫々療養ノ方法ヲ講セシメタリ

大阪府 大阪市長ト諮リ市内各區ニ各一箇所宛ノ無料診療所ヲ設置シ主ニ療養ノ資ニ乏シキモノニ左記ノ診療券ヲ與ヘ診療ヲ行ヒ又ハ豫防接種ヲモ一般ニ行ハシメタリ、診療所ノ組織ハ

(面表)

診療券		住所氏名年齢
指定	交付所	
診療所		
大阪市衛生課		

(面裏)

注意  
 本券は主として感冒に罹りたる者に對し診療するものとす  
 本券は大正九年二月末日まで有効とす  
 診療は毎日午前十時より午後三時迄とす

醫師二名看護婦事務員雜役夫各若干名トシ相當量ノ醫療機械及藥品ヲ備付ケタリ救療完備ヲ期スルニハ府市醫師會ノ援助ヲ受クルコト緊要ナルヲ以テ通牒ヲ發シ醫藥給セルサ者ニ對シ救療ノ實ヲ舉クルニ努メタリ又流行猖獗時看護婦拂底セルニ鑑ミ臨時試驗ヲ行ヒテ需求ノ調節ヲ計リタリ

神奈川縣 橫濱市内ノ細民部落ハ大體四部落アリ其ノ總戶數三千餘戶ニシテ日用品殊ニ食料品ノ騰貴ニ苦メル折柄本病ノ襲撃ニ因リ一層悲惨ナルモノ有リトノ報類々タリシニヨリ同部落ニ對シテハ救護治療班二組ヲ組織シ各班ニ醫師、藥劑師各一名及看護婦二名ヲ附シ醫療藥品其ノ他材料ヲ携帶シ各戶ニ付キ訪問診療セシメタリ今回ノ流行ニ於ケル診療戶數二千七百三十三戶救護人員三千二百八十三人ニ及ヘリ、八九年ノ流行ニ際シテモ橫濱市ニ於ケル細民救療事業ヲ擴張シ、全縣下ノ醫療ヲ受クル能ハサル者ニ對シ救療ヲ目的トシテ縣下ヲ四部ニ分チ五班ヲ造リ橫濱市ニ二班ヲ置キ、橫濱市、橋樹郡、都筑郡、久良岐郡ヲ擔當區域トナシ他ハ各々一班トシ各々部所ヲ定メテ防疫員防疫監吏一名ヲ附シ醫藥品ヲ携帶シ巡回治療ニ從事シ相當ノ效果ヲ收メ診療患者延人員九千四百一十一人ノ多キニ達セリ

兵庫縣 財團濟生會ノ治療ヲ擴張シ救療ニ當ラシメ神戸市ニ於テハ醫師一名看護婦二名巡查若干名ヲ以テ組織セル救療班五班ヲ編成シ市内各署ニ配置シ財團濟生會、赤十字社支部ニ於テモ救護班七班ヲ編成シ相協力シテ主トシテ細民部落ヲ巡回シ治療ニ從事セシメタリ

長崎縣 縣下大小ノ醫院、工場等ニ於テ使用人ニ對シ無料豫防注射ヲ施行セルモノ尠カラヌ又使用人罹患シ休業セル場合合同工場ノ指定セル醫師ノ證明アルモノニ對シテハ日當ヲ與ヘ救療

二端セル向モアリ

新潟縣 流行猖獗ヲ極メテ開業ノ醫師不足ヲ告ケタル町村ニ對シテハ防疫員又ハ警察醫ヲ派遣シテ患者ノ診察ニ從事セシメ服藥又ハ處方箋ヲ與ヘテ藥劑師又ハ開業醫ヨリ之ヲ得セシメ相互ノ融和ヲ計レリ

埼玉縣 看護婦ニ不足ヲ告ケタル爲巡回看護ノ方法ニ依リ患者ハ可成自宅隔離ヲ爲シ事情已ムヲ得サルモノハ屏風等ヲ用ヒシメ以テ病毒傳播ノ防遏ニ努メ藥劑ノ供給ハ衛生組合ニ於テ人夫ヲ備入レ藥餌ノ配給其他ノ用務ヲ處辨セシメ救療ニ努メタルモ看護婦ノ需要益々増加セラルヲ以テ之レカ補充方法トシテ臨時試驗ヲ施行シテ看護婦ヲ補充シ特ニ履歷ヲ審査シテ准看護婦免許ヲ與フル等極力救療看護ノ施設ニ努メタルモ尙且ツ充分ト認メ難キ地方モアリタリ群馬縣 防疫職員ヲ派遣シ流行ノ微アル地方ニハ豫防注射ヲ施行シ又ハ救護班ヲ組織シテ流行猖獗地方ニ於ケル診療ニ從事セシメタリ又豫防ヲクチンヲ市町村ニ交附シ貧困者ヨリ順次注射セシメタリ

千葉縣 患者中貧困ニシテ醫療ヲ受クルノ資力ナキモノニ對シテハ各郡町村ヲ通シ財團濟生會其ノ他慈善團體ノ救療ヲ受ケシムルニ遺漏ナキヲ期セシメタリ

茨城縣 貧窮ニシテ療養ノ途ヲ有セサル患者ニ對スル救濟方策ニ關シテハ財團濟生會ニ於テ取扱上ノ手續ヲ簡易ニシ速ニ同會ノ恩惠ニ均霑セシムル爲メ配當豫算ノ許ス限リ各受持巡查ヲシテ治療券ヲ携行セシメ隨時救療ヲ要スルモノニ交付スル等機宜ノ處置ヲトリタリ

栃木縣 窮民ノ患者ハ町村費或ハ衛生組合費若クハ財團濟生會ニテ救療シ赤十字社栃木支部ニ於テハ又若干ノ救療ヲ爲シタリ又地方ニ依リテハ從來ノ雇備出入關係等ニヨル間柄ニヨリ

主人側ニ於テ義務的ニ備人其ノ他ヲ救療セル事實等アリ又縣下西澤金山共濟會ニテハ同鑛山關係者中ノ患者ニハ一人一日金四十錢宛ヲ救療費トシテ支給シ足尾銅山鑛業所ニテハ通洞及小淵ノ二箇所ニ收容所ヲ設置シ鑛山關係者中流感ニ胃サレタル者アル時ハ一人一日金二十錢宛ヲ救シタルノミニテ食費藥價看護婦雇上料等總テ鑛業所ニテ負擔救療シ尙足利郡ニ於テハ郡醫師會ト交渉協定シ貧困ノ患者ニ對シ施療ヲ爲セリ

三重縣 流感罹患者ニシテ貧困ノ爲メ治療ヲ加ヘ得サルモノニ就テハ警察官署ヲシテ町村ト協力シ之レカ發見ニ努メ相當救治ノ方法ヲ講セシムル事ニナシタルモ縣下ヲ通シテ貧困ノ爲メ救療ヲ要セシモノ僅カニ五名ヲ出スニ過キサリシ之等ハ皆<sup>財團</sup>濟生會及町村ノ救助ニヨリ救療ヲナシタリ

愛知縣 大正七、八年流行時ニ於テハ縣衛生課勤務ノ醫師二名藥劑師一名ヲ以テ救療班ヲ組織シ山間部落ノ醫師ニ不便ナル地方ニ出張シ救療ニ努メシメタルモ大正八、九年流行時ニハ其ノ必要ヲ認メスシテ止ミタリ

靜岡縣 僻在ノ地流行猛烈ニシテ醫療ヲ受クル途ナキカ又ハ貧民ニシテ醫療ヲ受クルヲ得サルモノニ對シ左記ノ救療ヲナシタリ<sup>財團</sup>濟生會ニ於テハ細民ニシテ醫療ヲ受クル途ナキ流感患者ノ爲メ救療ノ目的ヲ以テ大正七年度豫算額ニ繰越金ヨリ金五千圓ヲ増額シ郡部ニ配布シ大正八年度ニ於テハ參千四百九十三圓ヲ増シ救療ヲ行ヒタリ赤十字社靜岡縣支部ニ於テハ巡回救護班二班ヲ編成シ靜岡市並ニ郡部ニ亘リ救護ヲ計畫シ細民ニシテ流感ノ手當ヲ爲シ得サル者ニ對シ救濟治療ヲ爲セリ又僻遠ノ地ニシテ流行激甚而モ醫師ナキカ醫師アルモ病氣其ノ他ニテ治療ヲ爲ス能ハサル町村ニ對シテハ警察醫及藥劑師ヲ長期ニ亘リ出張セシメ<sup>財團</sup>濟生

會ノ藥劑治療材料ヲ携行シ之ヲ救濟シタルモノ一市五郡ニ亘リタリ其ノ他二三町村ニ於ケル慈善家ハ流感豫防ノ爲メ豫防注射ヲ施與シタル者アリ

山梨縣 流行猖獗時ニハ各所ニ醫師ノ不足ヲ告ケ治療ノ途ナキモノ多數發生シタルヲ以テ救療ニ對シテ力ヲ注キ縣ニ於テ救護班ヲ組織シ各地方ニ出張シテ之レカ救護ニ從事シ多大ノ效果ヲ擧ケ得タリ其ノ他貧困ニシテ醫療ヲ受クル途ナキモノニ對シテハ<sup>財團</sup>濟生會ノ治療券ノ配付ヲ潤澤ニシ一面濟生會事業トシテ各警察署ニ含嗽劑ヲ配付シテ無料施與シタリ

滋賀縣 流行ノ初年ニ於テハ病毒ノ惡性ナルコトヲ感知セル者尠ナキ爲メ一般ニ其ノ治療ヲ等閑ニ付スル者多カリシカ次年流行時ニハ病毒猛烈ニシテ且ツ惡性ナルコトヲ深ク印象セル爲メ早期ニ醫療ニ就ク者多ク從テ救療ヲ要スル階級ニ屬スル患者モ請フテ<sup>財團</sup>濟生會ノ恩惠ニ浴サントスル者漸ク多キヲ加フルニ至リタル狀況ナリシヲ以テ當局亦努メテ其ノ恩惠ニ與カラシメ普ク救療ノ實ヲ擧クルニ努メタリ

長野縣 僻陋ノ地ニ對シテハ特ニ醫師看護婦等ノ招聘ニ便宜ヲ與ヘ貧困者ニ對シテハ<sup>財團</sup>濟生會ノ救療又ハ市長村衛生組合等ヲシテ救療ヲ爲サシメ又流行ヲ逞フシ醫療機關ノ不備不足ナル地ニ對シテハ特ニ本廳ヨリ防疫職員警察醫等ヲ派シ郡役所警察官署醫師會等ト協力シ村費又ハ村費ヨリ衛生組合ニ補助ヲ爲シ無料診療ヲ行ヘリ

福島縣 療養途ナキモノニ對シテハ<sup>財團</sup>濟生會ノ救療費ヨリ支出シ一面他ノ公私救療團體ノ活動ヲ促セリ又開業醫師等ノ乏シキ地方ニ對シテハ特ニ注意觀察ヲ行ヒ救療ノ方法ヲ講シタリ

鹿手縣 生計困難ナルモノニ對シテハ<sup>財團</sup>濟生會及慈善救濟資金、大禮恩賜賑恤資金等ヲ支出

シ之カ救済ヲナシタリ其ノ他醫師ノ在住セサル村落ニ對シテハ郡市醫師會長ト協商シ巡回治療等ノ方法ヲ講シタリ

青森縣 患者救済ハ<sup>財團</sup>濟生會事業トシテ縣ヨリ醫師ヲ派遣シ豫防接種施行並患者救済ヲ爲シ其ノ人員千三百餘人ニ達セリ一方赤十字社青森支部ニ於テモ救済券ヲ發シ各郡市醫師會ニ依託シテ無料診療ヲ爲セリ

山形縣 醫師分布ノ状態ニヨリ患者ノ救済上ニ至大ノ關係ヲ及ホスヘキヲ慮リ各郡醫師會ニ注意スル所アリ以テ救済上ニ便宜ヲ與フルコトヲ期セリ又貧民患者ニ對シテハ<sup>財團</sup>濟生會ニ於テ救済ノ方法ヲ講シタルモアリ

秋田縣 患者ノ救済ニ關シテハ縣ヨリ醫師及看護婦ヲ流行ノ熾烈ナル個所ヨリ順次派遣シ豫防消毒並ニ看護ノ方法ヲ各戸ニ就キ指示シ可及的不幸ナル轉歸ヲ見ルカ如キ事無カラシムルニ努メタリ

福井縣 本病ノ最モ猖獗ヲ極メタル部落ニ對シテハ防疫官補、警察醫、防疫員等ヲ派遣シ檢病的ニ患者ヲ視察セシメ發見ノ患者ニ對シテハ診療ヲ行ハシメ尙交通不便ノ爲メ醫療困難ナル部落ニ對シテハ特ニ救護班ヲ設置シ衛生課所屬ノ醫師防疫職員或ハ其ノ所轄在勤ノ警察醫ヲ派遣シ主治醫ヲ有セサル患者ニ對シテハ重輕ヲ問ハス總テ施療ヲ行フト共ニ投藥ハ勿論重症者ニ對シテハ相當行届ケル手當等ヲ行ヒ其ノ他豫防措置ノ徹底ヲ計リタル結果其ノ成績良好ニシテ救護班設置後ニ於テハ何レモ蔓延ヲ防止スルコトヲ得タリ

石川縣 猖獗ヲ極メタル町村又ハ部落等ヘハ夫々防疫員及警察醫ヲ派遣シテ警察官吏町村吏員及開業醫ト協力シテ一般患者ノ檢診施療及豫防接種等ニ從事セシメ貧困者ニ對シテハ<sup>財團</sup>

濟生會救護班ヲ組織シ直接救済ニ努メタリ

富山縣 山間僻遠ノ地ニシテ交通不便ナル部落ニ於テ本病ノ猖獗ヲ極メタル下新川郡大布施村、同郡石田村及中新川郡東谷村ノ三箇村ニ防疫員又ハ警察醫ヲ派遣シ豫防接種並ニ患者ノ施療ヲ爲シ救済患者數三百三十九人、施療延日數二千二百八十三日ニ及ヘリ

鳥取縣 縣及關係郡市町村ト<sup>財團</sup>濟生會トノ協力ニ成レル救護班ニヨリテ比較的流行猛烈ナリシ八頭岩美、氣高、東伯ノ四郡内ニ於ケル十七箇町村ヲ巡回救済シタルモノノ外濟生會ノ施療範圍ヲ擴メ又市町村ニ於テモ市町村費ヲ以テ豫防接種ヲ施行シタルモノノ抄カラス

和歌山縣 貧困患者及看護者ナキ患者其ノ他救済ヲ要スルモノニ對スル處置トシテハ<sup>財團</sup>濟生會ノ救済ヲ受ケシメ各種ノ事由ニ因リ看病者ナキモノニ對シテハ市町村ニ於テ之カ救済ヲ爲シタリ其ノ實例ノ一トシテ大正七年十一月東牟婁郡新宮町ニ於テ新宮警察署ハ同町役場ト協力シ町内篤志家ノ寄附ヲ俟テ其ノ贖金ヲ以テ救護班ヲ組織シ警察醫主任トナリ一般患者ノ救済健康者ノ豫防接種施行ニ從事シタリ

徳島縣 民衆ノ多クハ前流行時ニハ本病ノ性質ヲ理解セサル爲メ醫療ヲ怠リ多數ノ重症者死者ヲ出シタルニ鑑ミ後流行時ニハ一般ニ自ラ警戒スル處アリシモ救済ニ關シテハ一層之カ督勵ニ努メ貧困患者ニ對シテハ<sup>財團</sup>濟生會ノ救済ヲ爲シ一面山間其ノ他地方醫ノ配置不十分ナル個所等ニ對シテハ特ニ技術員ヲ派遣シ豫防接種ノ傍ラ一般患者ノ診療ニ從事セシムル等專ラ醫療ノ普及ニ努メタルカ尙名東郡佐那河内村ハ山村ニシテ面積廣ク多數ノ患者發生シタルニ醫師ニ乏シキヲ以テ技術員ヲ派遣救済セシ外特ニ徳島衛戍病院ニ交渉シ軍醫ノ派遣ヲ乞ヒ救済ノ普及ヲ計ル等遺憾ナキヲ期シタリ